

「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）」の選定取組（令和6年度実績）

[取組の種類]

区 分	考え方
① 独自性 （日本で唯一、宇都宮独自）	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
② 先駆的 （日本で先駆け）	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの
③ トップクラス （日本でトップクラス）	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの

[取組一覧]

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
1	I 子育て・教育	学校応援制度	企業名等を掲載した学校用物品（用紙や封筒など）の寄附を積極的に募集する制度	独自性	H22年度	教育企画課	継続
2	I 子育て・教育	返還免除型育英修学資金貸付制度	大学、大学院、短期大学、専門学校（専門課程）の在学者を対象に貸付するもので、奨学生が、最終学校卒業後1年以内に本市に居住し、引き続き、5年間居住を継続することを要件に、返還を免除する制度	独自性 先駆的	H27年度	教育企画課	継続
3	I 子育て・教育	学校物品有効活用システムへのポイント制導入	学校物品有効活用システムを使用し、学校間の物品の貸借や譲り受けによりポイントを付与し、学校の配当予算に還元 ・地域学校園ごとに保有物品のリストを作成し、システムの利用拡大を推進	独自性	H20年度	学校管理課	継続
4	I 子育て・教育	地域学校園事務室の推進	・中学校区を単位とする地域学校園（中学校1校と小学校2～4校）の学校事務職員で構成 ・地域学校園事務室長を配置し、共同事務を行うとともに、学校事務の効率化・平準化や教員の負担軽減、職場研修など、各地域学校園の実情に応じたさまざまな取組を実施 ・小・中学校間での所管替えなど弾力的な予算執行が可能	独自性	H24年度	学校管理課	継続
5	I 子育て・教育	冒険活動教室の実施	自然を活かした市有施設において、宇都宮市立の全小中学校を対象とした独自の自然体験活動、各学校の要望に応じた豊富な活動プログラムを実施（対象：小学5年、中学1年）	独自性	H8年度	学校教育課	継続
6	I 子育て・教育	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	・小中一貫教育カリキュラムを実施し、各教科等をはじめ、本市独自の「宮・未来キャリア教育」「宮っ子心の教育」「元気アップ教育」において、義務教育9年間を通じた系統的な指導を行う。 ・各中学校区の小・中学校で構成する地域学校園において、地域ぐるみでのあいさつ運動や地域ボランティアによる学校支援などを行う。	独自性	H22年度	学校教育課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
7	I 子育て・教育	宮っ子ダイアリーの活用による学校と家庭の連携推進	児童生徒が連絡帳・生活ノートとして毎日使用する宮っ子ダイアリー（学校教育推進計画等、児童生徒の生活の指針となる内容や宮っ子の誓い、心を育てる50の言葉、【大人の行動規範】子どもの手本となる50の言葉、本市とゆかりの深い百人一首の成り立ちなどを掲載）を、市立小・中学校の全児童生徒に配付・活用することにより、学校と家庭の連携を推進し、目指す児童生徒の姿の実現を図る。	独自性 先駆的	H20年度	学校教育課	継続
8	I 子育て・教育	「宇都宮学」の推進	グローバル社会に主体的に向き合い、よりよい社会を創る担い手となるとともに、異なる文化をもつ人々とともにたくましく未来を生き抜く宮っこを育むため、児童生徒が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業、まちづくりなどについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、「宇都宮学」を市内小学校3・4年生の社会科及び小学校5年生から中学校3年生までの「総合的な学習の時間」で実施する。	独自性 先駆的	R3年度	学校教育課	継続
9	I 子育て・教育	英語教育の推進	急速に進展するグローバル社会に主体的に向き合い、力強く生き抜く力を養うため、本市独自のカリキュラムや教員の指導力向上、ALTの活用、授業時間外の支援などの取組により、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、国際感覚の育成に努め、英語を使って外国人とコミュニケーションを図る力や多様な文化を理解し、共生しようとする態度を育む。	独自性	H22年度	学校教育課	新規 (追加)
10	I 子育て・教育	いじめゼロ運動の推進	いじめ根絶のための取組を実施 ・いじめゼロリボンの配付 ・いじめ根絶集会の実施 ・いじめゼロポスターコンクールの実施・表彰 ・受賞作品を活用したポスターの作成・配布を実施	独自性 トップクラス	H20年度	学校教育課	新規 (追加)
11	I 子育て・教育	「通学路交通安全プログラム」に基づく交通安全対策の推進	・全国に先駆けて策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、市教育委員会・学校、道路管理者、警察が合同で通学路の危険箇所の点検を行い、対策を講じている。 ・さらに、本市独自に全ての市立小学校の周囲500mをスクールゾーンとして設定し、注意喚起のための路面標示及び看板を設置した。	独自性	H25年度	学校健康課	継続
12	I 子育て・教育	元気っ子健康体力チェック	・全ての児童生徒を対象に、「新体力テスト」を実施し、本市独自に体力テストと食を含めた生活習慣に関するアンケート結果を分析し、児童生徒の体力向上や健康保持に活用する。	独自性	H21年度	学校健康課	継続
13	I 子育て・教育	全小・中学校及び学校給食センターへの学校栄養士の配置	・全小・中学校で、食育の推進や質の高い給食の提供を進められるよう、栄養教諭・学校栄養職員の未配置校へ、本市独自に会計年度任用職員（学校栄養士業務）を配置している。	先駆的 トップクラス	H20年度	学校健康課	継続
14	I 子育て・教育	「お弁当の日」の実施	・食事について親子で共に考える機会を創出し、子どもたちの食への関心を高め、感謝の心を育むことなどを目的として、全小・中学校で「お弁当の日」を年2回以上実施している。	独自性 先駆的	H20年度	学校健康課	継続
15	I 子育て・教育	魅力ある学校づくり地域協議会の設置・運営	・市内全ての小・中学校区において、①学校運営への参画機能、②学校教育の充実に向けた機能、③児童生徒の健全育成・安全確保に向けた機能、④家庭・地域の教育力向上に向けた機能を併せ持つ本市独自の運営体制を構築 ・地域住民や保護者による学校運営への参画、地域学校協働活動推進員による学校支援ボランティアの調整など、学校と地域をつなぐ役割を担う。	独自性 先駆的	H18年度	生涯学習課 学校教育課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
16	I 子育て・教育	子どもの読書推進(子どもの読書環境の充実に向けた図書館づくり)	・学校図書館が、読書センター・学習センター・情報センターとして、学校・地域の教育活動を支援する施設となるため、専門的な知識を有した学校図書館司書を全小・中学校に配置 ・南図書館に学校支援室を設置し、多くの児童に図書に触れてもらう機会を提供する「学校巡回図書」サービスや、学校の要望に合わせて、授業で必要とする資料を貸し出す「学校希望図書」サービスなどを学校図書館司書と連携して実施 ・高校生との連携による事業の実施 ・高校生向け読書情報誌「MIYATEEN」発行(中央図書館)	先駆的 トップクラス	H18年度	生涯学習課 (図書館) 学校教育課	継続
17	I 子育て・教育	うつのみやこども賞	子どもの読書活動を啓発するため、日本人の作者による新作児童文学作品を対象に、市内の小学5、6年生公募委員が、その年の一番友だちに薦めたい本を選び、賞を授与する事業を日本で唯一実施	独自性 先駆的	S59年度	生涯学習課 (図書館)	継続
18	I 子育て・教育	教養講座「宮の朝活」の開催(前期・後期)	多忙で日ごろ講座などに参加できない20代から40代の働き盛り世代や大学生などを対象に、早朝の時間を有効に活用し、魅力的な学習機会や体験の場を提供する教養講座を開催。講座前後の名刺交換や朝食をとりながらの情報交換を行う時間等を設け、参加者間の交流を促進する。	独自性 先駆的	H25年度	生涯学習課	継続
19	I 子育て・教育	特別支援教室(かがやきルーム)の設置及び指導員の配置	通常の学級に在籍する発達障がい等の傾向のある特別な支援を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた支援を行うため、市独自に全ての小・中学校に特別支援教室「かがやきルーム」を設置し、各校に専任の指導員を配置している。さらに、令和6年度からは、指導時数をより適切に確保するため、大規模小学校に他校の指導員が出向いて指導を行う形態を導入し、インクルーシブ教育の推進を図っている。	トップクラス	H20年度	教育センター	継続
20	I 子育て・教育	デジタル適応支援教室による誰一人取り残さない教育の推進	学校や社会とつながりがもてずに家庭で多くの時間を過ごしている不登校児童生徒が教育から取り残されてしまわないよう、「学びの機会」を保障し、オンラインでの学習支援や相談、体験活動等を通して、人とのつながりを実感しながら、将来の「社会的自立」に向けた力を育む。 令和5年4月にデジタル適応支援教室「U@りんくす」を開設	独自性 先駆的	R5年度	教育センター	継続
21	I 子育て・教育	妊産婦に対する支援の推進	子どもを持ちたいと望みながら不妊に悩む夫婦への経済的支援や安心して妊娠・出産できる支援として、不妊治療費、妊産婦医療費を助成 【不妊治療費助成事業】 ・生殖補助医療(体外受精・顕微授精・男性不妊治療)及び先進医療に係る治療費について、初回助成額は保険適用を含む自己負担額の10割・上限45万円、2回目以降は保険適用を除く自己負担額の7割・上限30万円(混合診療の場合は先進医療を上限7万円)まで助成 【妊産婦医療費助成事業】 母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌々月(産褥期)までの妊産婦に対し、健康保険が適用となる医療費の自己負担分を助成	トップクラス	H21年度	子ども支援課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
22	I 子育て・教育	障がい児発達支援の推進	全国に先駆け、子ども発達センターを設置し、保健師や保育士、理学療法士等の専門職により、相談から療育まで一貫して対応。	独自性 先駆的	H19年度	子ども発達センター	継続
23	I 子育て・教育	オリジナル婚姻届の作製等	本市の特色をイメージしたイラストを施したオリジナル婚姻届の配布により、カップルの門出を祝福するとともに、本市の魅力を市内外にアピールすることで、宇都宮市に「住んでみたい」「住み続けたい」と思う気持ちの醸成を図る。	独自性	R1年度	市民課	継続
24	I 子育て・教育	宮っ子の誓いの制定	・「宮っ子の誓い」カードを市内の全小・中学生等に配布し、「宮っ子の誓い大使」等の認定を行うことにより、誓いに関する意識の高揚及び積極的な活動実践を図る。 ・また、「宮っ子表彰」や「宮っ子心の教育表彰」のほか、「子どもの手本となる50の言葉」を活用した行動事例集の作成など、関連事業を創設・実施	独自性	H19年度	教育企画課	継続
25	II 健康・福祉	・「宮デジサポーター」の養成・活動支援	高齢者等のデジタルに不慣れな方に対し、スマートフォンの操作方法等を教える地域のボランティア「宮デジサポーター」の養成・活動支援を行うもの	独自性	R5年度	デジタル政策課	継続
26	II 健康・福祉	健康ポイント事業	・運動や検診の受診などの健康づくり活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントに応じて協賛企業提供物品等を提供する。 ・「自転車のまちうつのみや」の取組と連携した「自転車に乗る」活動のほか、健康づくりにつながるイベントへの来場などをポイント付与の対象としている。 ・歩数などのランキングを表示する機能やグループ機能、健康づくり推進員を中心に作成したウォーキングコースを歩くイベントに参加できる機能などにより、励まし合いながら健康づくりに取り組めるほか、健康に関する情報を適宜追加している。	独自性	H30年度	健康増進課	継続
27	II 健康・福祉	地域・職域連携推進事業（職場における健康づくり応援サイト）	職場における健康づくりの重要性や健康づくりに関する新しい話題などの健康情報を掲載したサイトを、本市ホームページ内に開設し、事業主等が主体的に健康づくりに取り組めるようにしている。 令和6年度からは、女性特有の健康課題や婦人がん検診・相談窓口など女性の健康づくりに関する情報を集約したページを追加	独自性 先駆的	R1年度	健康増進課	継続
28	II 健康・福祉・医療	高齢者グループホームにおける国基準を上回る居室床面積の設定	国基準を上回る居室床面積を市条例で規定	独自性	H24年度	保健福祉総務課	継続
29	II 健康・福祉・医療	地域別データ分析の実施	本市の健康寿命の延伸に向けた科学的な根拠に基づく新たな施策・事業の展開（EBPMの推進）に活用するとともに、市民一人ひとりの主体的な健康づくりへの取組につなげるため、地域別データ分析により、市民の健康状態に関する市域全体や地域別の特性・課題を明らかにする。	独自性	R1年度	高齢福祉課 保健福祉総務課 健康増進課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
30	Ⅱ 健康・福祉・医療	「わく・わくバーチャル美術館U」やコンビニエンスストアでの「地域密着型アート展」による障がい者アート作品の展示	【わく・わくバーチャル美術館U】 障がい者の文化活動の発表の場である「うつのみやふれあい文化祭」の作品展をウェブ上で公開する。360度カメラを利用し、実際の作品展示会場を可視化することで、現地で作品を見ているかのようなウォークスルー鑑賞が体験できる。 【コンビニエンスストアでの「地域密着型アート展」】 市内コンビニエンスストアにおいて、近隣の障がい者福祉施設で創作された作品を展示	独自性	R3年度	障がい福祉課	継続
31	Ⅱ 健康・福祉・医療	聴覚障がい者に対する手話を用いた意思疎通支援の実施	【手話通訳者の窓口設置】 障がい福祉課窓口到手話通訳者2名を設置し、手話による意思疎通支援体制を整備 【手話通訳問合せ対応サービス】 テレビ電話を使い、自宅等から手話による市の業務に関する問合せができる環境を整備 【遠隔手話通訳サービス】 ・地域行政機関等での各種申請手続き等の際に、窓口のタブレット端末を使い、障がい福祉課窓口設置手話通訳者と遠隔手話通訳による意思疎通ができる環境を整備 ・手話通訳者が同行できない場合や日常生活における様々な場面において、障がい者本人のタブレット端末を使い、遠隔手話通訳による意思疎通ができる環境を整備	独自性	R3年度	障がい福祉課	継続
32	Ⅲ 安全・安心	国・県・市災害対策連絡協議会の設置	市域における災害の発生時において防災関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応ができるよう、自衛隊・警察・県・市・消防で構成する組織の運営と合同訓練の実施	独自性 先駆的	H19年度	危機管理課	継続
33	Ⅲ 安全・安心	農林業資源を活用した防災・減災対策	自然災害による被災リスクや被害の軽減に向けて、水田の貯水機能を活用した田んぼダムの普及促進	独自性 先駆的	R2年度	農業企画課	継続
34	Ⅲ 安全・安心	女性活躍推進事業 (仕事と子育て家庭のインターンシップうつのみや事業)	・仕事と子育ての両立を行う就業者の家事・子育ての状況について、学生が日常生活の動画や意見交換会をとおして疑似体験をするほか、企業が取り組んでいる子育て支援の取組を経営者との交流会をとおして知ることにより、結婚・出産後の就業継続意識の醸成を図る。また、本市で就業することへの魅力を知ってもらい、首都圏への転出防止や本市への転入に繋げることを目的とするもの ・令和3年度から首都圏等の学生も参加できるよう完全オンライン型で実施	先駆的	R1年度	女性活躍推進課	継続
35	Ⅲ 安全・安心	宇都宮市つながりサポート女性支援事業	・新型コロナウイルス感染症の影響により、不安や困難を抱える女性が孤立・潜在化し、行政だけでは支援が届きにくくなっていることが懸念されていることから、NPO等と連携し、その知見やネットワークを活用することにより、市民の身近な場所において、生理用品の提供をきっかけとした女性への相談支援の強化に取り組む。	先駆的	R3年度	女性活躍推進課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
36	Ⅲ 安全・安心	自治会の維持及び活動活性化に向けた手厚い支援	安全で安心な地域づくりのための重要な役割を担う「自治会」の維持・活性化に全市を挙げて取り組むため、令和7年4月に施行した「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」に基づき、市独自の先進的な支援策を総合的に実施	独自性 先駆的	R6年度	みんなでまちづくり課	新規
37	Ⅲ 安全・安心	消費生活相談窓口の常時開設	市民が安全で安心な消費生活が送れるよう、年末年始を除き、毎日、相談窓口を開設し、市民からの相談に適切かつ迅速に対応	トップクラス	H19年度	生活安心課	継続
38	Ⅲ 安全・安心	グリーンアンドレッドリボン（GRリボン）運動	市民や地域、事業者などあらゆる機関、団体が一丸となって飲酒運転を許さない地域づくりを進めるために、GRリボンを交通安全運動や地域イベントなどの機会、事業者、学校などを通して市民に配布することで、飲酒運転根絶に係る気運を醸成する。	独自性	H18年度	生活安心課	継続
39	Ⅳ 魅力創造・交流	宇都宮ブランド戦略事業の推進	「住めば愉快だ宇都宮」をブランドメッセージに設定するとともに、頭の3文字を自由に変えられるオリジナル愉快ロゴを官民一体となって展開するなど、「オール宇都宮」による総合的・戦略的な都市ブランドを推進	先駆的	H20年度	都市ブランド戦略課	継続
40	Ⅳ 魅力創造・交流	宇都宮ブランド・移住定住プロモーションの展開	・テレビCMをはじめ、インターネット広告や鉄道広告、テレビ番組の見逃し配信など、多様なメディアを連動させた（クロスメディア）プロモーションを展開し、本市の強みを全国に発信	独自性	R4年度	都市ブランド戦略課	継続
41	Ⅳ 魅力創造・交流	東京圏への新幹線通勤・通学に係る支援	本市への移住定住の促進を図るとともに、本市に住みながら、様々なライフスタイルやライフデザインに合った仕事や学びを実現したい方を支援するため、小学生以降を対象とし、東京圏に通勤・通学する方の新幹線定期券購入費を補助	独自性 トップクラス	R5年度	都市ブランド戦略課	継続
42	Ⅳ 魅力創造・交流	宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースの開催	・平成4年度に創設し、平成20年度からはUCI（国際自転車競技連合）が公認する、アジア最高位の自転車ワンデイロードレースとして開催 ・ロードレースの前日には大通りを疾走する「ジャパンカップクリテリウム」を開催 ・世界で活躍するチーム・選手によるハイレベルなレースの提供のほか、幅広い世代が楽しめる多彩な付帯イベントを実施	トップクラス	H4年度	スポーツ都市推進課 スポーツ戦略室	継続
43	Ⅳ 魅力創造・交流	FIBA3x3ワールドツアー宇都宮オープナーの誘致開催	・FIBA（国際バスケットボール連盟）が主催する3人制バスケットボール「3x3」のクラブチーム世界No.1を決める「FIBA3x3ワールドツアー」を誘致開催 ・令和4年度からは、ワールドツアーの開幕戦を「宇都宮オープナー」として誘致開催 ・大会開催に合わせ、関東地区を中心とした小学生対象の大会「3x3Jr.CUP」を開催	トップクラス	H28年度	スポーツ都市推進課 スポーツ戦略室	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
44	Ⅳ 魅力創造・交流	百人一首のまちづくり	・市制100周年を契機として本市ゆかりの「百人一首」の市民大会を開催。一般市民を対象とした公的機関が主催する大会としては全国最大規模であり、令和元年度には、百人一首市民大会において「同時にかかるた遊びをした最多人数」のギネス世界記録を達成（記録：701人） ・平成26年度からは、「蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会」も開催 ・普及啓発事業として、イベント時のパネル展やかかるた体験事業、百人一首かるたをデザインしたマンホールの設置（日本初）等を実施 ・小中学生に配布する「宮っ子ダイアリー」や「宇都宮学」に本市と百人一首の関わりを掲載し、郷土への理解や愛着を醸成	独自性 トップクラス	H8年度	文化都市推進課	継続
45	Ⅳ 魅力創造・交流	エスペール文化振興事業	・文化芸術活動が顕著で、今後の活躍が期待できる本市ゆかりの芸術家に賞に加え、育成金を授与し育成・支援 ・過去の実績者からは、国際チェロコンクールで日本人で初めて優勝したチェロ奏者の宮田大氏はじめ、国際レベルで作品が認められた彫刻家の高橋靖史氏や元Kバレエカンパニーのプリンシパル遅澤佑介氏など世界で活躍する芸術家を輩出 ・ギャラリー部門とホール部門を隔年で交互に選考し、受賞者に育成金200万円を授与。 ・選考を行わない年は、過去の実績者と連携した鑑賞機会を提供するプロポート事業を実施	独自性	H13年度	文化都市推進課	継続
46	Ⅳ 魅力創造・交流	妖精によるまちづくりの推進	・本市出身の妖精学の第1人者である井村君江氏の寄贈品などを収蔵、展示 ・妖精に関する収蔵品の数が国内一である妖精をテーマとした公立展示施設「妖精ミュージアム」を拠点に、妖精資料を活用した文化振興・中心市街地活性化に向けた取組を通年で展開（※通年で楽しめるのは国内では当館のみ）	独自性 トップクラス	H19年度	文化都市推進課	継続
47	Ⅳ 魅力創造・交流	宇都宮市民遺産制度（みや遺産）の推進	・文化財の指定・未指定や有形・無形に関わらず市民や地域に愛され、親しまれている歴史文化資源を認定し、地域や社会全体で歴史文化資源を継承する活動への支援を行う。 ・これまでに22件を認定し、活動費や看板設置費の補助を行っている。	独自性	R2年度	文化都市推進課	継続
48	Ⅳ 魅力創造・交流	餃子を活用した観光誘客	餃子の消費量が高く、全国的に知名度の高い「宇都宮餃子」を活かし、昭和レトロ感溢れる餃子通りの装飾やフォトスポットの設置のほか、多くの市内外からの来訪者で賑わう餃子祭りの開催など、官民一体となった観光事業を展開することで本市の魅力と集客力をさらに高めている。	独自性	H30年度	観光MICE推進課	継続
49	Ⅳ 魅力創造・交流	大谷石をはじめとした地域資源を活用した大谷地域の振興	大谷ならではの地域資源である、大谷石採取場跡地での観光活用や賦存する冷熱エネルギーの活用、大谷石の魅力発信により、体験型観光コンテンツの創出や大谷夏いちご栽培事業の活性化、大谷石産業の需要拡大を推進し、大谷地域の振興を図る。	独自性	H24年度	観光MICE推進課	継続
50	Ⅳ 魅力創造・交流	「大谷石文化」の日本遺産認定	・全国で104件ある日本遺産の1つとして文化庁より認定を受けた。 ・「石の文化」として、単一の市町村でストーリーが完結する「地域型」の日本遺産の認定を受けたのは3市のみ（令和7年4月時点） ・日本遺産認定を契機とし、官民協働の「大谷石文化推進協議会」を設立し、大谷石の保存・活用を通じた地域活性化事業を推進	独自性 先駆的	H30年度	文化都市推進課	継続
51	Ⅴ 産業・環境	公共交通の脱炭素化の推進	本市が目指す2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、ゼロカーボントransポートのラインととも、公共交通ネットワークを構成している路線バス、地域内交通などのEV化を加速させるため、交通事業者が取り組む電気自動車等の導入を支援するもの	先駆的 トップクラス	R5年度	交通政策課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
52	V 産業・環境	もったいない運動の推進	ひと・もの・まちを大切にする本市独自のもったいない運動について、「もったいない運動市民会議」と連携し、更なる認知度の向上と実践者の拡大を図る。	独自性 先駆的	H17年度	環境創造課	継続
53	V 産業・環境	自立分散型の再生可能エネルギー等の普及促進（家庭向け脱炭素化促進補助事業）	冬季の日照時間が長いという、本市の地域特性を活かした太陽エネルギーの利活用により、家庭からの温室効果ガス排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システムを軸とした自立分散型エネルギーの利用を促進する。	トップクラス	H28年度	環境創造課	継続
54	V 産業・環境	地域新電力会社による再生可能エネルギーの地産地消の推進	官民共同出資による「地域新電力会社」を設立し、本市が保有するバイオマス発電や家庭用太陽光発電による再生可能エネルギーを買い取り、公共施設の一部やライトラインへ供給することで再生可能エネルギーの地産地消を推進する。	独自性 先駆的	H28年度	環境創造課 カーボンニュートラル 推進室	継続
55	V 産業・環境	農業者の経営能力向上支援事業	農業者に対して複数回に渡る継続的なセミナーの開催に加え、専門家による個別経営相談も合わせて実施する等、伴走型支援を実施 ・認定農業者向け経営発展チャレンジコース ・新規就農者向け経営スタートアップコース	先駆的	R6年度	農業企画課	新規
56	V 産業・環境	遊休農地の解消・未然防止の強化（農地の見える化）	農地の流動化を促進するため、農地を借受けたい農業者が貸出希望農地情報を容易に確認できるよう、本市HP「宇都宮市まちかど情報マップ」上に貸出を希望する農地情報を公開	先駆的	R6年度	農業企画課	新規
57	V 産業・環境	はじめてごはん事業	1歳6か月を迎えた子どもと保護者に対して、特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配付する「はじめてごはん事業」を実施し、宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるとともに、食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらう。	独自性 先駆的	H27年度	農林生産流通課	継続
58	V 産業・環境	げんきにごはん事業	新たなライフステージに進んだ新小学1年生・新中学1年生と保護者に対して、特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配付する「げんきにごはん事業」を実施し、宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるとともに、食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらう。	独自性 先駆的	H28年度	農林生産流通課	継続
59	VI 交通	交通ICカード導入支援及び運賃負担軽減策	運賃支払の簡略化と、これに伴う定時性・速達性の向上、乗り継ぎの円滑化など、公共交通の利便性向上を図るため、交通ICカードの導入を支援するとともに、本市が目指すNCC形成に向け、公共交通ネットワークの利便性の向上を図るため、市民の誰もがどこに住んでいても高次都市機能を有する都市拠点にアクセスできるよう、本市独自の運賃負担軽減策を運用	独自性 先駆的	H25年度	交通政策課	継続
60	VI 交通	地域住民が主体となった地域内交通の実施	地域住民が主体となり、運行計画を決定し、地元自治会や企業等から協賛金を募るなど、地域内交通を運営（地域の実情に合わせた独自の運行方式）	独自性 先駆的	H19年度	交通政策課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
61	VI 交通	「自転車のまち宇都宮」の推進	【独自性】 ・民間事業者やプロスポーツチーム等と連携した各種自転車関連施策の展開による本市独自のまちづくり推進 【トップクラス】 ・自転車専用通行帯の規制延長が全国トップクラス	独自性 トップクラス	H22年度	スポーツ都市推進課 生活安心課 道路建設課	継続
62	VI 交通	水道料金等の収納率	・水道料金:98.32% (令和5年度 中核市4位) ・下水道使用料:97.81% (令和5年度 中核市5位)	トップクラス	H20年度	お客さまサービス課	継続
63	VI 交通	安全で良質な水への取組	・松田新田浄水場において平成17年にISO9001を、水質検査センターにおいて平成20年に水道GLPを取得(「ISO9001」と「水道GLP」の両方取得は中核市初) ・「平均残留塩素濃度」の低さが中核市1位(令和4年度末)	先駆的 トップクラス	H20年度	水道管理課 水質管理課	継続
64	VI 交通	水道施設におけるクリーンエネルギーの導入	・水道施設の機能や特徴を活かしたクリーンエネルギーを導入(太陽光発電設備,小水力発電設備ともに中核市初) ・「再生可能エネルギー利用率」が中核市1位(R4年度末) (令和4年度水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標公表値調査結果)指標一覧より)	先駆的 トップクラス	H19年度	水道管理課	継続
65	VI 交通	水道事業における環境負荷の低減	・環境負荷の低減を評価する指標である「配水量1m ³ あたりCO2排出量」の少なさが中核市3位(R4年度末) (令和4年度水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標公表値調査結果)指標一覧より)	トップクラス	H19年度	水道管理課	継続
66	VI 交通	再開発促進事業	・組合施行による市街地再開発事業の完了地区数8地区 ・令和5年度からは、市街地再開発事業の要件として本市独自要綱を作成し、質の高い民間開発を誘導	独自性 トップクラス	S61年度	市街地整備課 再開発室	継続
67	VI 交通	都心部地区まちづくり促進事業	・優良建築物等整備事業の要件として本市独自要綱を作成し、質の高い民間開発を誘導	独自性	R5年度	市街地整備課 再開発室	継続
68	VI 交通	NCC推進に向けた市街化調整区域の土地利用の推進	立地適正化計画による市街化区域の都市機能誘導等の取組に加えて、本市独自の市街化調整区域の地域拠点区域における都市計画制度等の効果的な運用により、都市全体を見渡した観点からNCC形成を推進	独自性 先駆的	H29年度	NCC推進課	継続

No.	政策の柱	取組名	概 要	区 分	開始年度	所管課	備考
69	VI 交通	LRTと一体となった沿線まちづくりの推進	LRT導入を契機として、市民・事業者・行政等が協働しながら、魅力ある沿線まちづくりを推進	先駆的	H30年度	NCC推進課	継続
70	行 行政経営基盤	市税納付推進協力事業所制度の推進	・誰もが納期内に市税を納めることができるよう、市が行う納税意識の啓発や収納対策に対し、本市と連携して従業員に積極的に働きかけを行う事業所を登録する制度 ・登録事業所は、市が送付する税情報の従業員への周知や口座振替の取りまとめなどに協力 ・市は、税に関する出前講座の開催や市税制度に関する相談など事業所への支援や、特に優れた取組を行った事業所の表彰、PRなどを実施	独自性	H30年度	納税課	継続